

I 調査結果の概要

1 青果物の卸売動向（表1参照）

平成20年（1～12月）の全国の青果物卸売市場における取扱いの状況は以下のとおりとなった。

(1) 野菜

野菜の卸売数量は1,136万tで、前年に比べ1%減少した。

これは、春夏にんじんの価格が堅調であったため早期に収穫したこと及び冬にんじんがは種後の大雨による発芽不良、その後の天候不順により生育が抑制されたことや、トマト及びきゅうりの作付面積が減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均189円で、前年に比べ2%上昇した。

これは、トマト、レタスの価格が低下したものの、にんじん、はくさい、ねぎが上昇したことなどによる。

卸売価額は2兆1,463億円で、前年に比べ1%増加した。

(2) 果実

果実の卸売数量は436万tで、前年に比べ3%増加した。

これは、国産果実が天候に恵まれ順調に生育し、入荷量が増加したことに加え、輸入果実においても、健康志向からバナナの需要が高まり、輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均257円で、前年に比べ9%低下した。

これは、バナナは健康志向から需要が高く、高値で推移したものの、国産果実の入荷量が増加し安値で取引されたことなどによる。

卸売価額は1兆1,192億円で、前年に比べ6%減少した。

表1 青果物卸売数量・価額・価格

区 分		実 数			対 前 年 比		
		平.18	19	20	平.18	19	20
計	卸売数量	1 622	1 571	1 573	96	97	100
	卸売価額	34 622	33 100	32 655	102	96	99
野 菜	卸売数量	1 174	1 145	1 136	98	98	99
	卸売価額	22 497	21 161	21 463	104	94	101
	卸売価格	192	185	189	106	96	102
果 実	卸売数量	448	425	436	90	95	103
	卸売価額	12 125	11 939	11 192	99	98	94
	卸売価格	271	281	257	111	104	91

単位 { 数量：万 t
価額：億円
価格：1 kg当たり円

図1 野菜の卸売数量と卸売価額の推移

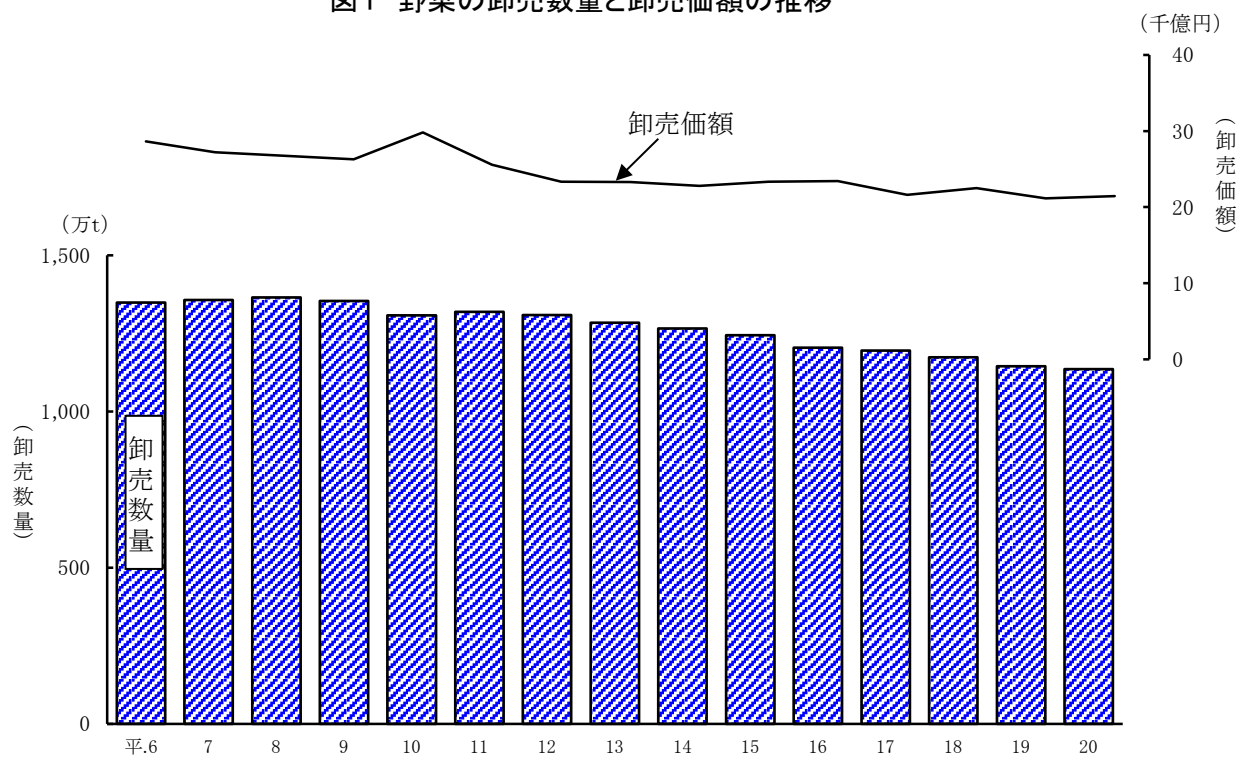
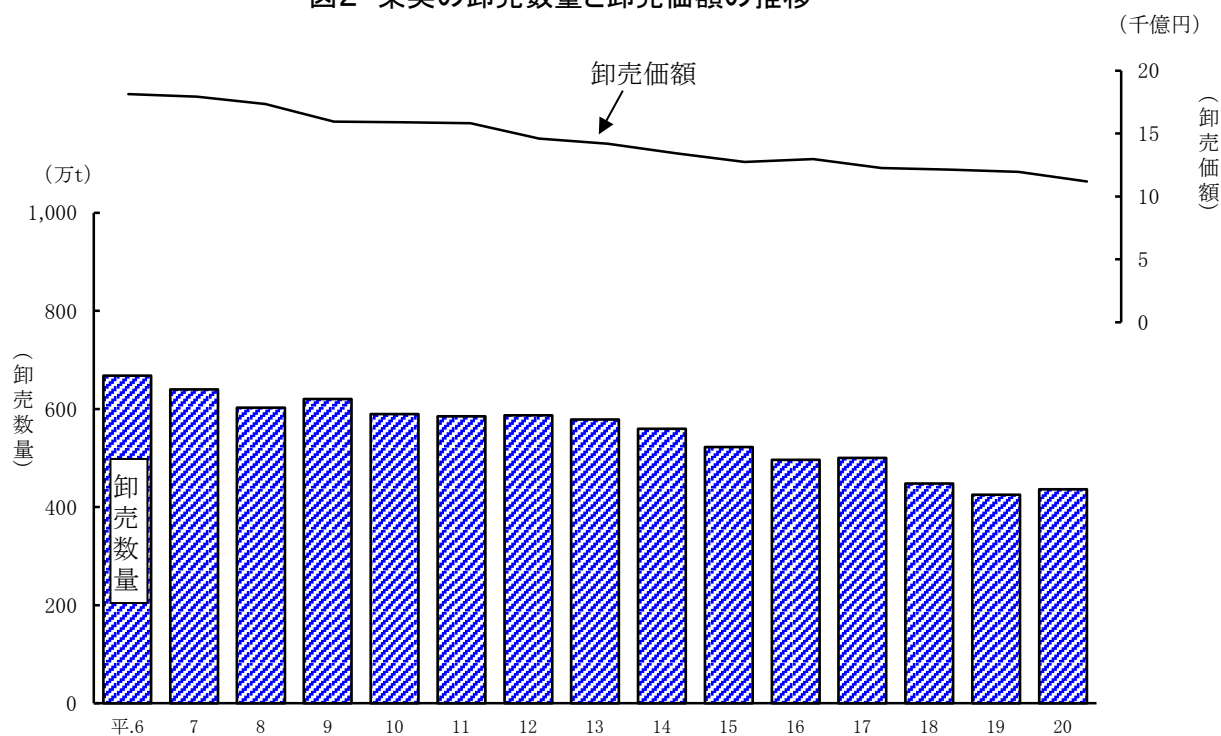


図2 果実の卸売数量と卸売価額の推移



(3) 主要都市※の市場における輸入野菜の動向（表2、3参照）

ア 卸売数量は20万8千tで、前年に比べ19%減少した。

これは、ピーマンの輸入量が増加したものの、たまねぎ、かぼちゃ、ねぎが減少したことなどによる。

イ 輸入割合（各品目の卸売数量の総量に占める輸入の割合）の高い品目は、にんにく（56.7%）、かぼちゃ（40.0%）、しょうが（23.6%）、アスパラガス（22.1%）、ブロッコリー（15.0%）等となっている。

※ 主要都市とは、①人口20万人以上で、かつ青果物の年間取扱量がおおむね6万t以上の都市、②県庁所在都市及び中央卸売市場が開設されている都市をいい、人口等により1類都市と2類都市に区分している（1類都市、2類都市の基準の詳細は「利用者のために」を参照。）。

なお、輸入野菜については、主要都市の市場計のみであり全国計の推定は行っていない（以下同じ。）。

表2 主な輸入野菜の卸売数量と輸入割合

品目	卸売数量						輸入割合		
	平. 18	対前年比	19	対前年比	20	対前年比	平. 18	19	20
	単位 { 卸売数量：千t 輸入割合・対前年比：%								
輸入野菜計	340	79	257	76	208	81	3.9	3.0	2.5
うち									
にんにく	29	93	9	32	8	92	5.5	1.7	1.6
ごぼう	13	110	8	62	6	76	11.8	7.2	5.6
たけのこ	2	90	2	81	1	65	13.1	12.8	8.7
キャベツ	4	35	1	20	1	88	0.4	0.1	0.1
ねぎ	27	90	18	65	10	57	10.1	6.6	3.8
アスパラガス	7	84	6	90	6	90	27.2	23.5	22.1
ブロッコリー	23	76	20	89	16	81	22.0	21.0	15.0
かぼちゃ	85	81	91	108	85	94	42.2	42.4	40.0
ピーマン	11	89	10	95	11	110	8.5	8.0	9.0
さやいんげん	1	80	1	96	1	73	6.0	5.9	4.3
さやえんどう	7	66	3	45	1	32	46.4	30.7	10.1
さといも	11	188	8	75	4	47	16.0	12.8	6.0
たまねぎ	60	62	34	57	23	68	6.7	3.7	2.5
にんにく	14	84	12	85	11	92	65.0	56.1	56.7
しょうが	14	95	11	82	8	69	36.6	32.0	23.6
生しいたけ	10	68	6	65	2	39	20.2	14.1	5.7

ウ 国産品と輸入品の卸売価格を比較すると、国産品との価格差（国産品を100とした輸入品の価格比）が大きい品目のうち、輸入品が安い品目は、にんにく（11%）、生しいたけ（33%）、さやえんどう（36%）、しょうが（44%）等となっている。

表3 主な野菜の国産品と輸入品の卸売価格

単位：1kg当たり円

品 目	平. 18			19			20		
	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比
	国産品	輸入品		国産品	輸入品		国産品	輸入品	
			%			%			%
にんじん	142	91	64	96	80	83	136	122	90
ごぼう	234	114	49	189	96	51	223	103	46
たけのこ	322	410	127	347	424	122	336	544	162
キャベツ	86	85	99	78	87	112	78	93	119
ねぎ	332	143	43	326	140	43	340	160	47
アスパラガス	992	724	73	959	767	80	987	786	80
ブロッコリー	276	269	97	331	280	85	304	268	88
かぼちゃ	182	161	88	158	132	84	155	142	92
ピーマン	384	606	158	373	653	175	376	525	140
さやいんげん	718	627	87	741	644	87	717	645	90
さやえんどう	961	332	35	1 109	403	36	1 022	366	36
さといも	252	118	47	261	107	41	257	119	46
たまねぎ	92	78	85	76	75	99	78	70	90
にんにく	1 056	172	16	911	181	20	1 457	159	11
しょうが	566	235	42	639	284	44	747	327	44
しいたけ	1 006	357	35	1 037	354	34	1 040	348	33

参考1 主な野菜の輸入国と輸入数量割合（平成20年計）

上段：輸入国名
下段：数量割合（%）

品 目	1位	2位	3位	4位	5位
にんじん・かぶ	中 国 60.8	台 湾 18.9	ニュージーランド 11.3	オーストラリア 6.9	メキシコ 0.9
ごぼう	中 国 92.1	台 湾 7.9			
結球キャベツ	中 国 59.7	韓 国 23.9	台 湾 16.3		
ねぎ	中 国 100.0				
アスパラガス	メキシコ 25.2	オーストラリア 24.4	タ イ 21.2	ペ ル ー 9.0	フィリピン 7.9
ブロッコリー	ア メ リ カ 98.4	中 国 1.6	オーストラリア 0.0	フィリピン 0.0	
かぼちゃ	ニュージーランド 68.7	メキシコ 26.5	ニュー・カレドニア 2.3	トンガ 1.6	ロシヤ 0.4
ピーマン	韓 国 75.6	ニュージーランド 14.2	オ ラ ン ダ 10.2	ア メ リ カ 0.0	
ささげ・いんげん まめ属の豆	オ マ ー ン 88.2	中 国 11.8	ス ペ イ ン 0.0		
えんどう	中 国 43.7	ベ ト ナ ム 43.3	インドネシア 11.4	タ イ 0.9	フィリピン 0.7
さといも	中 国 100.0				
たまねぎ	中 国 85.4	ア メ リ カ 10.7	ニュージーランド 1.3	オーストラリア 1.3	タ イ 1.0
にんにく	中 国 98.7	韓 国 0.9	ア メ リ カ 0.3	台 湾 0.0	イ ン ド 0.0
しょうが	中 国 85.1	タ イ 6.8	インドネシア 5.4	ベ ト ナ ム 2.1	フィリピン 0.4
しいたけ	中 国 100.0				

資料：財務省『貿易統計』

注：「ピーマン」は、厚肉大果種のものである。

2 主要品目の動向

(1) 野菜

表4 主要野菜の卸売数量

単位 { 卸売数量：万t
対前年比：%

区分	卸売数量			対前年比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
野菜計	1 174	1 145	1 136	98	98	99
うち						
だいこん	115	109	110	99	95	100
にんじん	69	72	68	97	105	94
はくさい	97	92	90	98	94	99
きゃべつ	145	141	142	106	97	100
ほうれんそう	18	16	17	101	89	101
ねぎ	37	36	36	96	98	100
レタス	64	60	59	101	93	98
きゅうり	57	57	55	93	100	97
なす	32	33	32	91	102	97
トマト	55	53	51	98	97	97
ピーマン	17	17	16	95	100	98
ばれいしょ	78	77	76	101	98	99
さといも	9	9	9	82	94	100
たまねぎ	118	120	120	99	101	100

表5 主要野菜の卸売価額

単位 { 卸売価額：億円
対前年比：%

区分	卸売価額			対前年比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
野菜計	22 497	21 161	21 463	104	94	101
うち						
だいこん	913	786	820	105	86	104
にんじん	944	685	915	111	73	134
はくさい	608	498	569	110	82	114
きゃべつ	1 229	1 076	1 076	105	88	100
ほうれんそう	708	669	660	96	95	99
ねぎ	1 121	1 103	1 167	103	98	106
レタス	992	1 073	959	103	108	89
きゅうり	1 546	1 496	1 473	113	97	98
なす	956	904	874	109	95	97
トマト	1 554	1 544	1 397	103	99	90
ピーマン	659	645	619	114	98	96
ばれいしょ	887	716	776	96	81	108
さといも	213	209	215	109	98	103
たまねぎ	1 071	904	925	97	84	102

表6 主要野菜の卸売価格

単位 { 卸売価格：1kg当たり円
対前年比：%

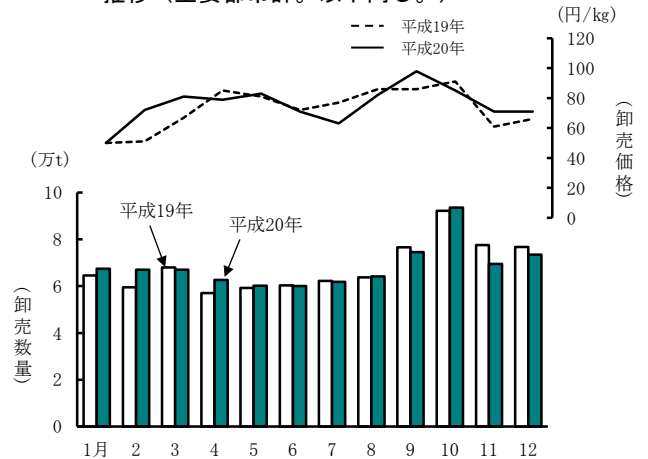
区分	卸売価格			対前年比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
野菜計	192	185	189	106	96	102
うち						
だいこん	79	72	75	105	91	104
にんじん	137	95	134	114	69	141
はくさい	62	54	63	111	87	117
きゃべつ	85	76	76	100	89	100
ほうれんそう	386	409	400	95	106	98
ねぎ	302	303	322	107	100	106
レタス	154	180	164	102	117	91
きゅうり	272	264	267	123	97	101
なす	300	277	276	120	92	100
トマト	284	291	272	106	102	93
ピーマン	397	389	383	120	98	98
ばれいしょ	113	94	103	95	83	110
さといも	225	235	242	132	104	103
たまねぎ	90	75	77	97	83	103

ア だいこん（表4・6、図3参照）

平成20年の全国の青果物卸売市場における（以下同じ。）卸売数量は110万tで、前年並みであった。

卸売価格は、7・8月は需要低迷から安値となったものの、2・3月及び11・12月は冷え込みにより需要が増え高値で推移したことから、前年に比べ4%上昇し75円となった。

図3 だいこんの月別卸売数量と卸売価格の推移（主要都市計。以下同じ。）



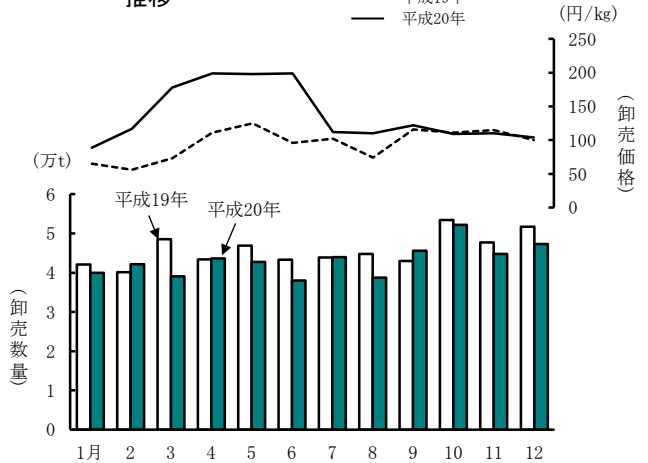
イ にんじん（表4・6、図4参照）

卸売数量は68万tで、前年に比べ6%減少した。

これは、春夏にんじんの価格が堅調であったため早期に収穫したこと、冬にんじんがは種後の大雨による発芽不良、その後の天候不順により生育が抑制されたことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ41%上昇し134円となった。

図4 にんじんの月別卸売数量と卸売価格の推移

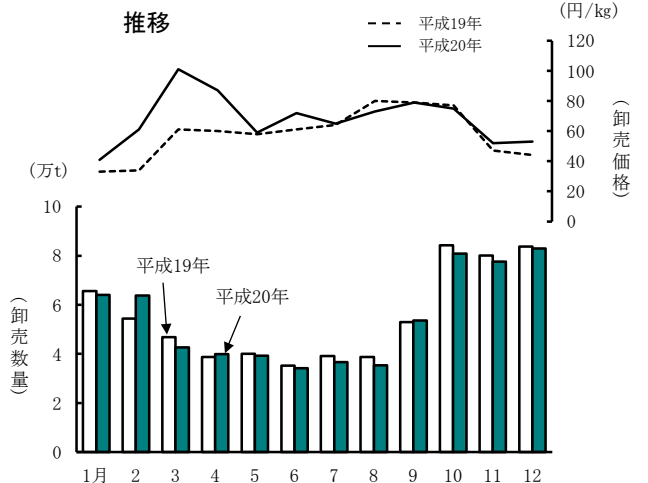


ウ はくさい（表4・6、図5参照）

卸売数量は90万tで、前年に比べ1%減少した。

卸売価格は、昨年の価格が暖冬の影響による需要の低迷から安値であったことから、前年に比べ17%上昇し63円となった。

図5 はくさいの月別卸売数量と卸売価格の推移

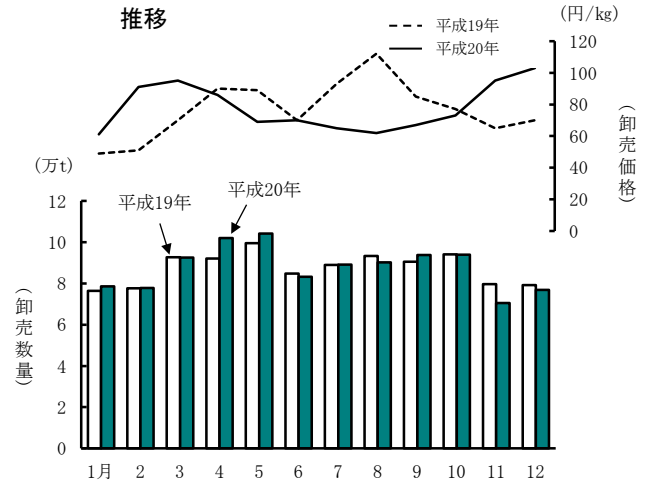


エ キャベツ（表4・6、図6参照）

卸売数量は142万tで、前年並みであった。

卸売価格は、冬キャベツは天候不順による生育の遅れから入荷量が減少し、高値で推移したものの、春キャベツは比較的天候に恵まれ入荷量が潤沢であり、安値で推移したことから、前年並みの76円となった。

図6 キャベツの月別卸売数量と卸売価格の推移



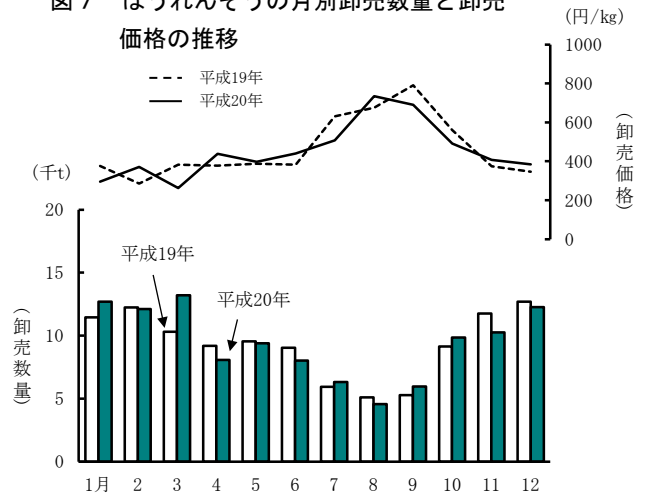
オ ほうれんそう（表4・6、図7参照）

卸売数量は17万tで、前年に比べ1%増加した。

これは、6月以降は、関東産が天候不順により入荷量が安定しなかったものの、1～3月は天候に恵まれ順調に生育し入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、3月の入荷量が前年に比べ大幅に増加したことにより安値となったことから、前年に比べ2%低下し400円となった。

図7 ほうれんそうの月別卸売数量と卸売価格の推移

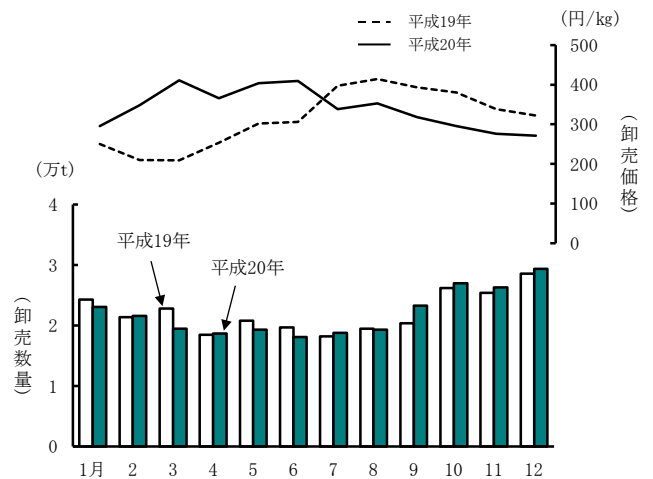


カ ねぎ（表4・6、図8参照）

卸売数量は36万tで、前年並みであった。

卸売価格は、下半期は入荷が順調であったことから安値で推移したものの、上半期は天候不順による生育の遅れから入荷が遅れ高値で推移したことから、前年に比べ6%上昇し322円となった。

図8 ねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



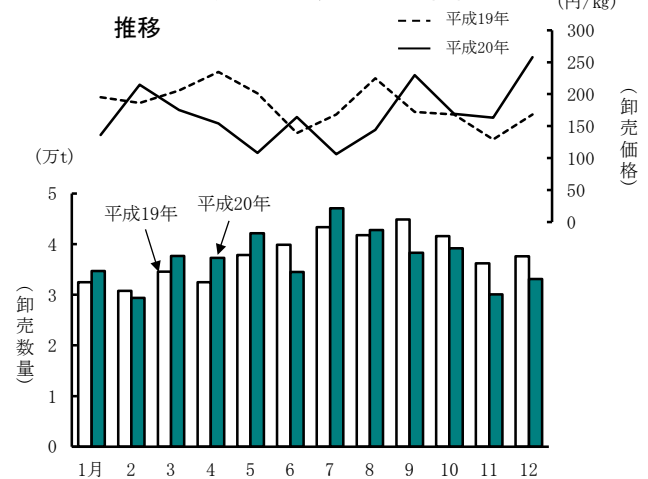
キ レタス (表4・6、図9参照)

卸売数量は59万tで、前年に比べ2%減少した。

これは、春レタスは比較的天候に恵まれ入荷量が増加したものの、冬レタスが作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、3～5月、7月及び8月の入荷が順調で安値となったことから、前年に比べ9%低下し164円となった。

図9 レタスの月別卸売数量と卸売価格の推移



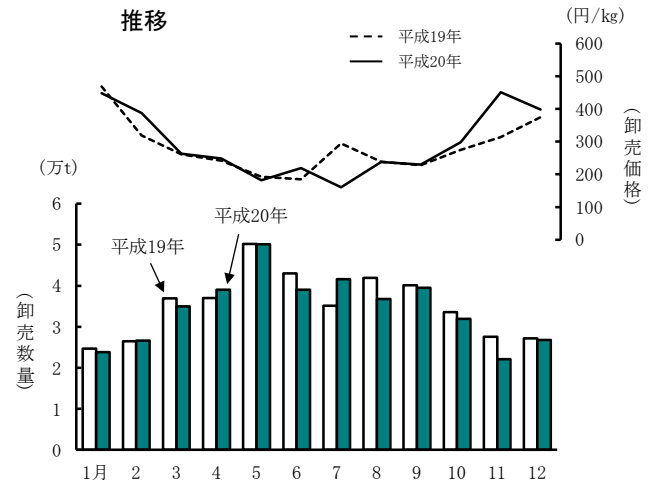
ク きゅうり (表4・6、図10参照)

卸売数量は55万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、前年に比べ1%上昇し267円となった。

図10 きゅうりの月別卸売数量と卸売価格の推移



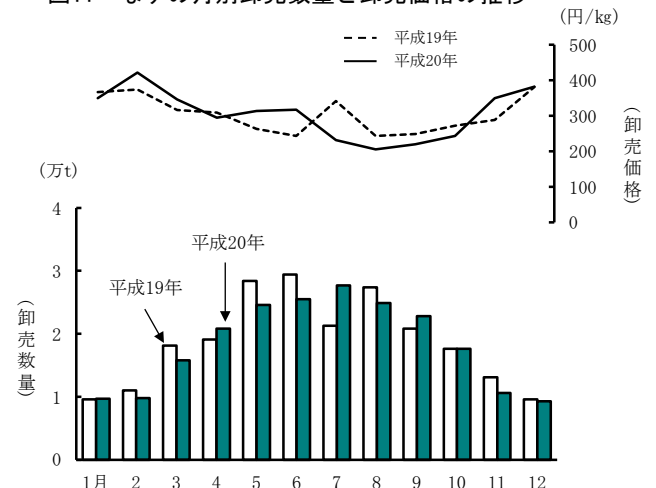
ケ なす (表4・6、図11参照)

卸売数量は32万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、上半期は作付面積の減少による入荷量の減少から高値で推移したものの、下半期は天候に恵まれ入荷量が増加し安値で推移したことから、前年並みの276円となった。

図11 なすの月別卸売数量と卸売価格の推移



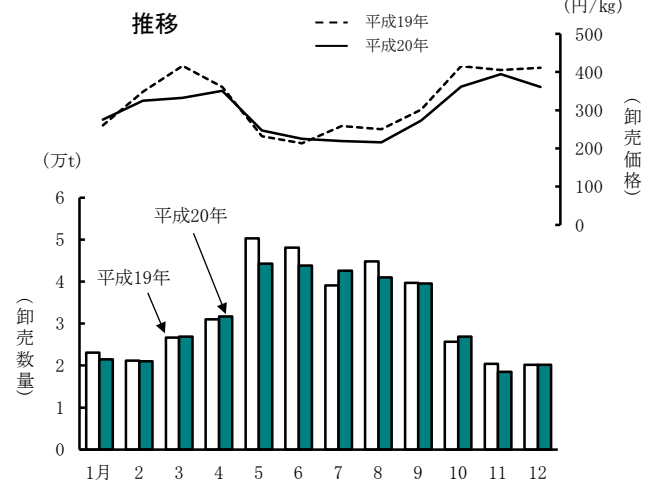
コ トマト（表4・6、図12参照）

卸売数量は51万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したものの需要が低かったことなどから、前年に比べ7%低下し272円となった。

図12 トマトの月別卸売数量と卸売価格の



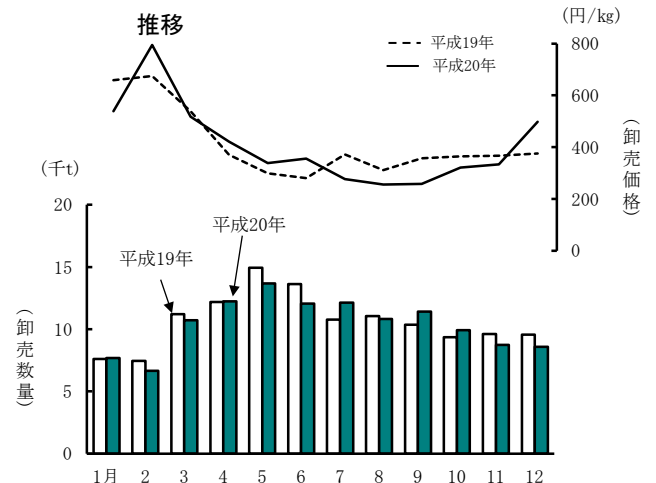
サ ピーマン（表4・6、図13参照）

卸売数量は16万tで、前年に比べ2%減少した。

これは、夏秋ピーマンは天候に恵まれ入荷量が増加したものの、冬春ピーマンが作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、夏秋ピーマンが天候に恵まれ入荷量が増加し安値で推移したことなどから、前年に比べ2%低下し383円となった。

図13 ピーマンの月別卸売数量と卸売価格の



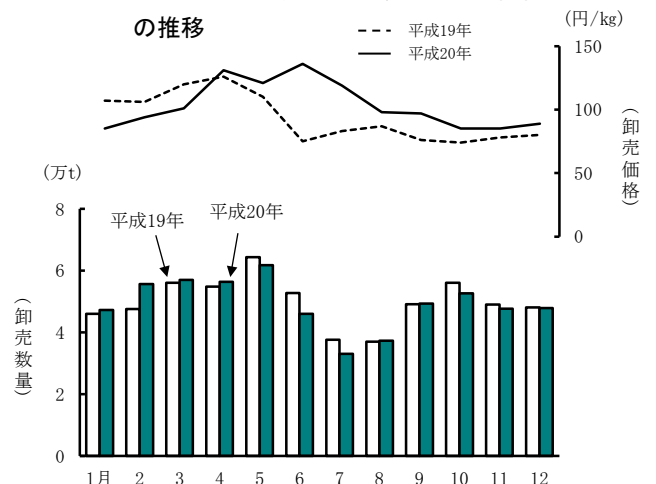
シ ばれいしょ（表4・6、図14参照）

卸売数量は76万tで、前年に比べ1%減少した。

これは、春植えばれいしょの作付面積の減少により、5~7月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、5月以降の入荷量の減少により高値で推移したことなどから、前年に比べ10%上昇し103円となった。

図14 ばれいしょの月別卸売数量と卸売価格の

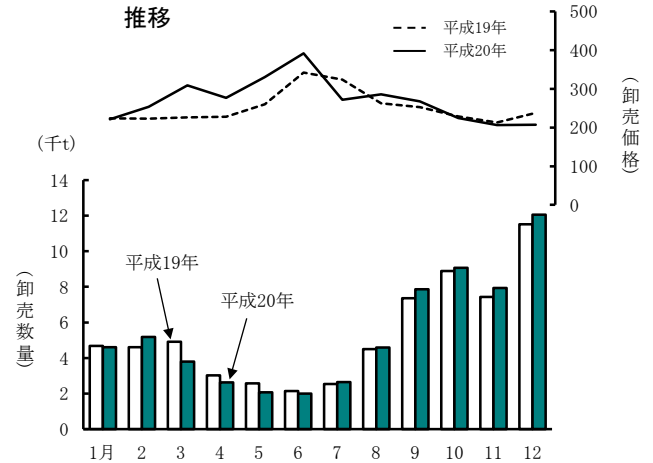


ス さといも (表4・6、図15参照)

卸売数量は9万tで、前年並みであった。

卸売価格は、上半期に輸入量の減少により国産の引き合いが強まったことから、高値で推移し、前年に比べ3%上昇し242円となった。

図15 さといもの月別卸売数量と卸売価格の推移

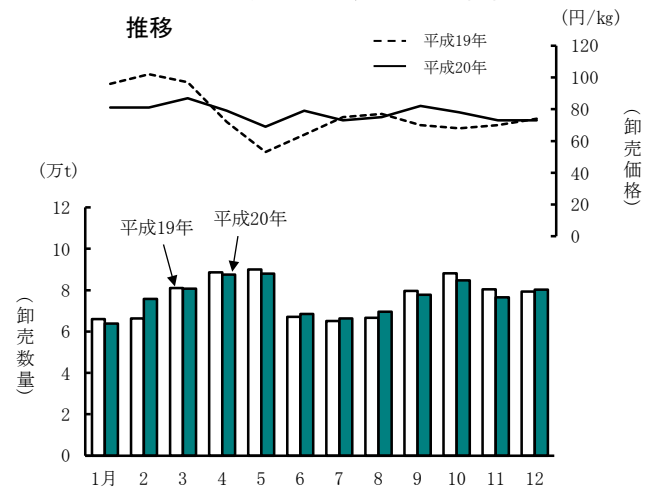


セ たまねぎ (表4・6、図16参照)

卸売数量は120万tで、前年並みであった。

卸売価格は、前年の3～5月の入荷量が潤沢で価格が低下した影響から、前年に比べ3%上昇し77円となった。

図16 たまねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



(2) 果実

表7 主要果実の卸売数量

単位 { 卸売数量：万 t
対前年比：%

区 分	卸 売 数 量			対 前 年 比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
果 実 計	448	425	436	90	95	103
うち						
み か ん	77	78	80	82	102	103
い よ か ん	10	9	10	78	90	107
り ん ご	69	67	68	107	97	102
日 本 な し	19	18	21	74	98	116
か き も	17	16	18	80	97	112
も	10	10	11	80	98	107
ぶ ど う	12	12	11	92	95	98
い ち ご	17	16	17	98	94	105
メ ロ ン	21	22	20	85	101	90
す い か	40	39	38	90	99	97
バ ナ ナ	67	55	58	91	82	105
グ レ ー プ フ ル ー ツ	12	14	12	79	122	84
オ レ ン ジ	9	6	7	101	68	116

表8 主要果実の卸売価額

単位 { 卸売価額：億円
対前年比：%

区 分	卸 売 価 額			対 前 年 比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
果 実 計	12 125	11 939	11 192	99	98	94
うち						
み か ん	1 797	1 629	1 563	112	91	96
い よ か ん	147	175	126	74	119	72
り ん ご	1 586	1 616	1 440	102	102	89
日 本 な し	527	547	477	98	104	87
か き も	393	369	348	116	94	94
も	457	424	415	101	93	98
ぶ ど う	749	772	707	99	103	92
い ち ご	1 748	1 658	1 591	94	95	96
メ ロ ン	911	892	795	96	98	89
す い か	617	619	624	100	100	101
バ ナ ナ	778	755	861	96	97	114
グ レ ー プ フ ル ー ツ	209	233	182	99	111	78
オ レ ン ジ	186	158	132	114	85	84

表9 主要果実の卸売価格

単位 { 卸売価格：1 kg当たり円
対前年比：%

区 分	卸 売 価 格			対 前 年 比		
	平.18	19	20	平.18	19	20
果 実 計	271	281	257	111	104	91
うち						
み か ん	235	208	195	137	89	94
い よ か ん	143	189	127	93	132	67
り ん ご	231	242	212	96	105	88
日 本 な し	281	298	224	131	106	75
か き も	232	224	189	145	97	84
も	453	430	394	127	95	92
ぶ ど う	606	658	617	107	109	94
い ち ご	1 007	1 022	932	96	101	91
メ ロ ン	424	412	407	112	97	99
す い か	156	157	164	111	101	104
バ ナ ナ	117	138	149	105	118	108
グ レ ー プ フ ル ー ツ	177	162	150	125	92	93
オ レ ン ジ	200	250	180	112	125	72

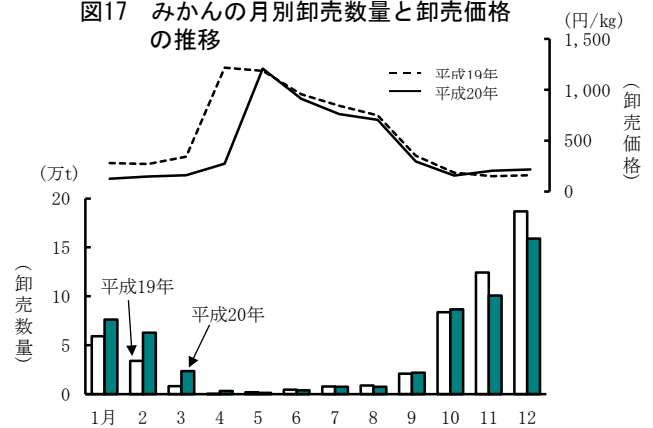
ア みかん（表7・9、図17参照）

卸売数量は80万tで、前年に比べ3%増加した。

これは、表年であった19年産の年越量が多かったこと、20年産の極早生みかんが天候に恵まれ順調に入荷したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の多かった1～4月の間は安値で推移したことなどから、前年に比べ6%低下し195円となった。

図17 みかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



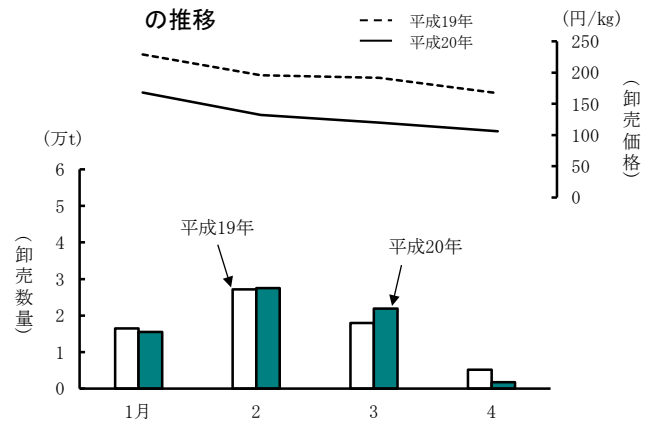
イ いよかん（表7・9、図18参照）

卸売数量は10万tで、前年に比べ7%増加した。

これは、天候に恵まれたことから、順調に入荷したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから安値で推移し、前年に比べ33%低下し127円となった。

図18 いよかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



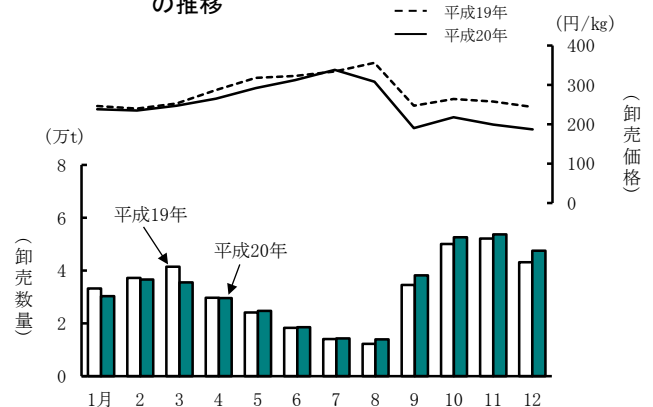
ウ りんご（表7・9、図19参照）

卸売数量は68万tで、前年に比べ2%増加した。

これは、天候に恵まれ着果数が多かったことにより、8～12月の入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が多かった8月以降は安値で推移したことなどから、前年に比べ12%低下し212円となった。

図19 りんごの月別卸売数量と卸売価格の推移



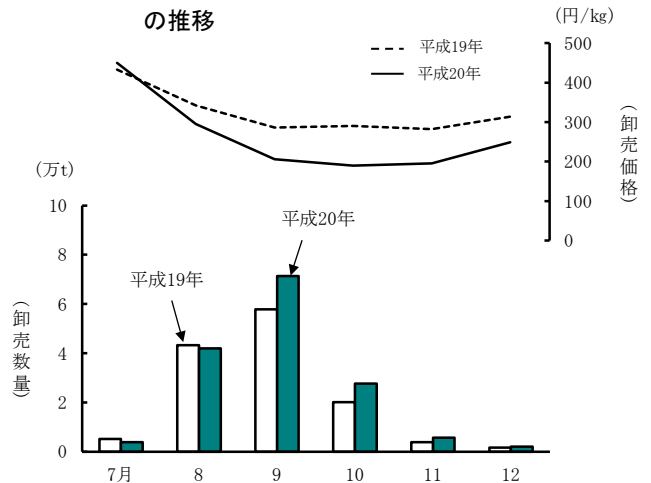
エ 日本なし（表7・9、図20参照）

卸売数量は21万 tで、前年に比べ16%増加した。

これは、天候に恵まれ果実の肥大が促進されたことにより、9・10月の入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから安値で推移し、前年に比べ25%低下し224円となった。

図20 日本なしの月別卸売数量と卸売価格の推移



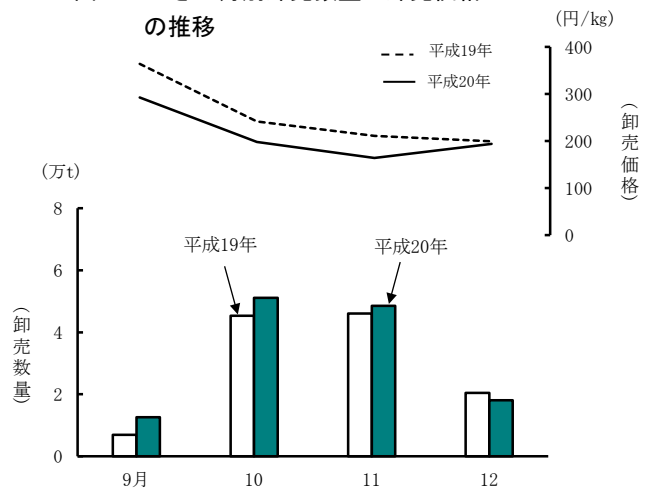
オ かき（表7・9、図21参照）

卸売数量は18万 tで、前年に比べ12%増加した。

これは、天候に恵まれ着果数が多かったことにより、9～11月の入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから安値で推移し、前年に比べ16%低下し189円となった。

図21 かきの月別卸売数量と卸売価格の推移



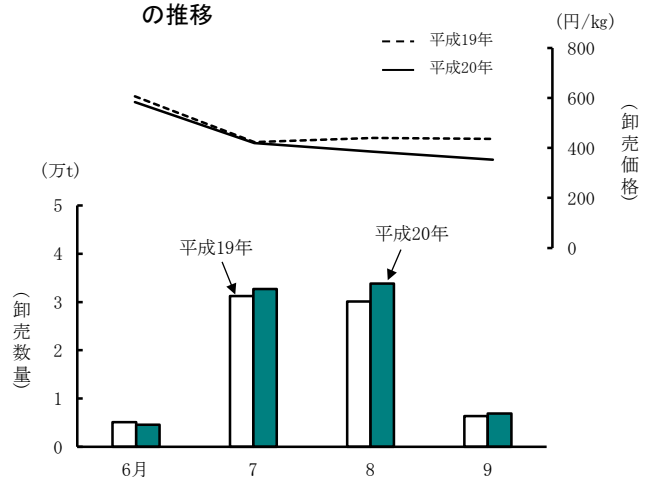
カ もも（表7・9、図22参照）

卸売数量は11万 tで、前年に比べ7%増加した。

これは、天候に恵まれ、結果数が多かったことにより、7・8月の入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の多かった7・8月に安値で推移したことなどから、前年に比べ8%低下し394円となった。

図22 ももの月別卸売数量と卸売価格の推移



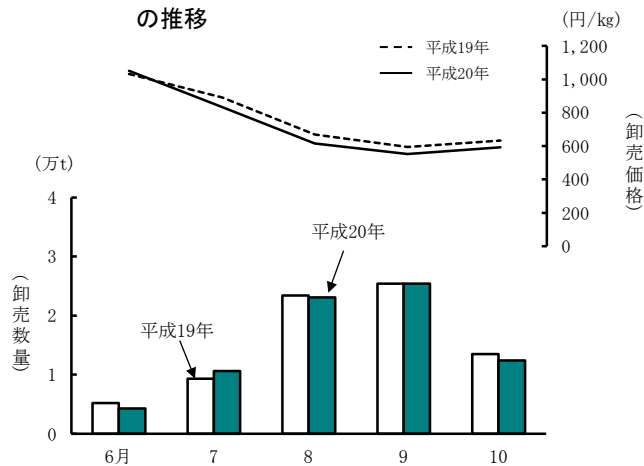
キ ぶどう (表7・9、図23参照)

卸売数量は11万 t で、前年に比べ2%減少した。

これは、山梨県、長野県等において天候不順の影響で結果数が減少したことにより、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、ほぼ1年間を通して安値で推移したことから、前年に比べ6%低下し617円となった。

図23 ぶどうの月別卸売数量と卸売価格の推移



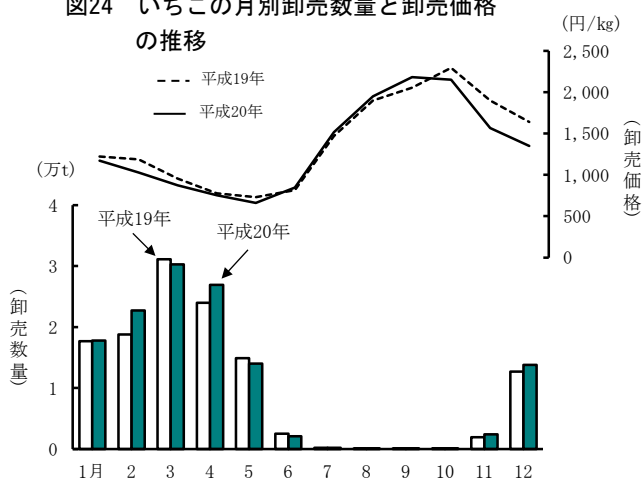
ク いちご (表7・9、図24参照)

卸売数量は17万 t で、前年に比べ5%増加した。

これは、2月の冷え込みの影響から3月の入荷量は減少したものの、概ね順調に入荷したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから、前年に比べ9%低下し932円となった。

図24 いちごの月別卸売数量と卸売価格の推移



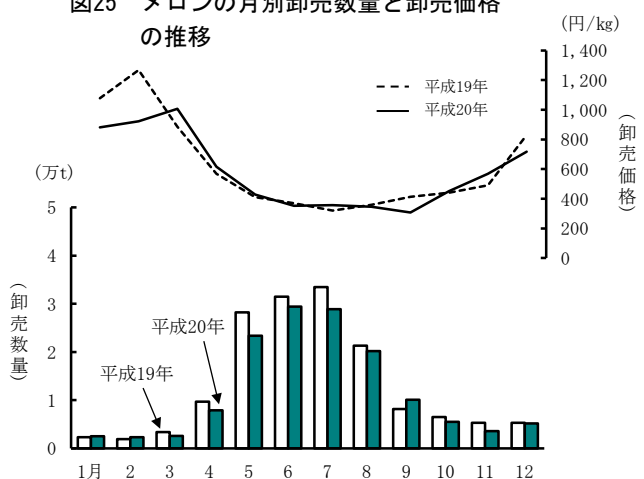
ケ メロン (表7・9、図25参照)

卸売数量は20万 t で、前年に比べ10%減少した。

これは、作付面積の減少や天候不順により関東産の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、9月に入荷量が増加し、安値になったことなどから、前年に比べ1%低下し407円となった。

図25 メロンの月別卸売数量と卸売価格の推移



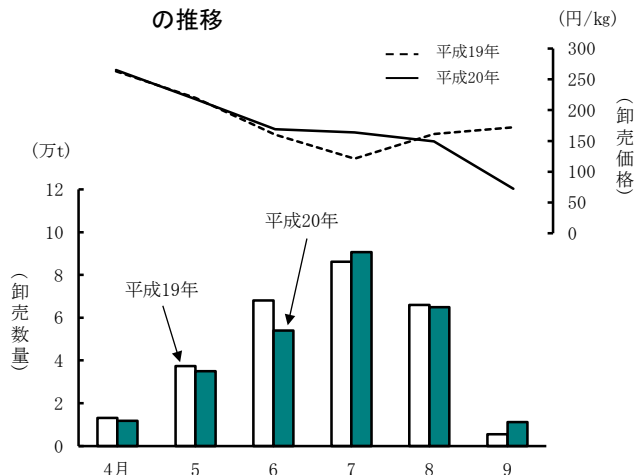
コ すいか (表7・9、図26参照)

卸売数量は38万 tで、前年に比べ3%減少した。

これは、作付面積の減少や天候不順により関東産の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、9月に入荷量が増加したことから安値となったものの、夏場が高温であったことから需要が伸びたことなどにより、前年に比べ4%上昇し164円となった。

図26 すいかの月別卸売数量と卸売価格の推移



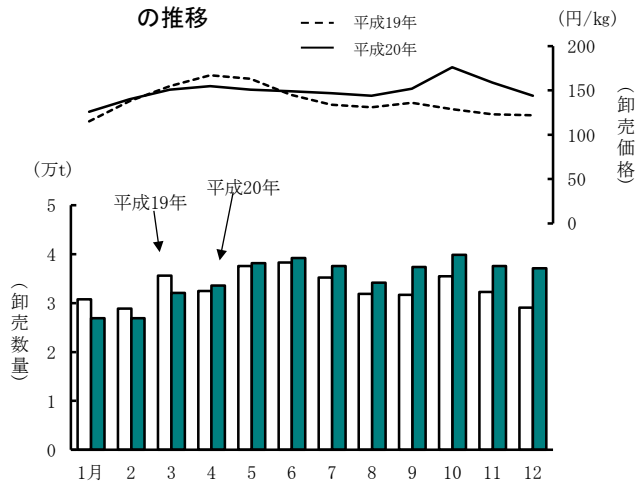
サ バナナ (表7・9、図27参照)

卸売数量は58万 tで、前年に比べ5%増加した。

これは、健康志向から需要が伸び、輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は、輸入量が増加したものの需要が高く、前年に比べ8%上昇し149円となった。

図27 バナナの月別卸売数量と卸売価格の推移



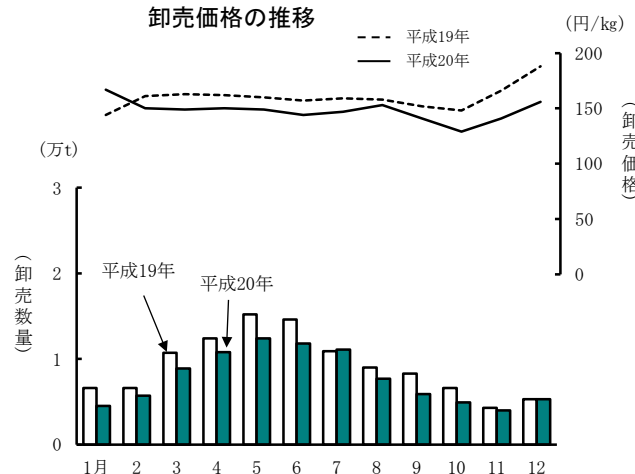
シ グレープフルーツ (表7・9、図28参照)

卸売数量は12万 tで、前年に比べ16%減少した。

これは、アメリカ (フロリダ) 産、南アフリカ産の輸入量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量は減少したものの、他の果実との競合などから需要が低く、前年に比べ7%低下し150円となった。

図28 グレープフルーツの月別卸売数量と卸売価格の推移



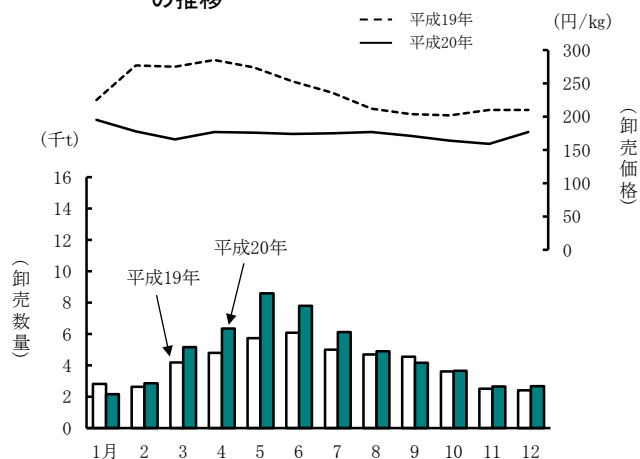
ス オレンジ（表7・9、図29参照）

卸売数量は7万tで、前年に比べ16%増加した。

これは、前年、寒波の影響により減少したアメリカ（カリフォルニア）産が、順調に入荷したことから輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は、前年に比べ28%低下し180円となった。

図29 オレンジの月別卸売数量と卸売価格の推移



参考2 主な果実の輸入国と輸入数量割合（平成20年計）

品 目	上段：輸入国名				
	下段：数量割合 (%)				
	1位	2位	3位	4位	5位
バナナ	フィリピン 93.3	エクアドル 4.2	台湾 0.8	ペルー 0.7	メキシコ 0.5
パイナップル	フィリピン 99.5	台湾 0.5	タイ 0.0		
レモン	アメリカ 64.0	チリ 30.1	南アフリカ 4.5	ニュージーランド 1.2	オーストラリア 0.1
グレープフルーツ	アメリカ 68.5	南アフリカ 27.0	スワジランド 2.4	イスラエル 2.0	スイス 0.1
オレンジ	アメリカ 73.1	オーストラリア 13.4	南アフリカ 8.6	チリ 4.8	イタリア 0.1
さくらんぼ	アメリカ 99.2	チリ 0.4	ニュージーランド 0.2	オーストラリア 0.2	
キウイフルーツ	ニュージーランド 98.3	チリ 1.5	アメリカ 0.1	中国 0.0	
メロン	メキシコ 76.9	アメリカ 21.3	韓国 1.2	ニュージーランド 0.4	中国 0.2

資料：財務省『貿易統計』